



世界が惚れた！日本のクールな切れ味！

のこぎりの輸出について

2022年 神戸港で数量・金額ともに過去最高を記録
神戸港シェアは数量・金額ともに35年連続全国第1位！

1. はじめに

のこぎりと言えば、木工の授業や夏休みの工作の宿題で、あるいは庭木の剪定などで、これまで一度は使用された方も多いのではないのでしょうか。また、コロナ禍のステイホーム中にDIYをする際、久しぶりにのこぎりを手に取った方もいらっしゃるかもしれませんね。

日本の大工さんが使うイメージのあるのこぎりですが、海外でも広く使われています。

一般的なイメージの大工用の両刃のこをはじめとして、森林整備や農業関係の人などが使う剪定用のもの、刃を折り込んでコンパクトに収納できるものや刃が交換できるものなど多種多様なのこぎりが、実は日本から世界各国へ輸出されています。

そして、昨年2022年は神戸港で数量・金額ともに過去最高を更新しました。

兵庫県南部には古くから金物産業が栄えた地域があり、現在も三木市や小野市は金物のまちとして知られています。神戸港からは、これらの地域で製造されたのこぎりが多く輸出されており、神戸港の全国シェアは数量・金額ともに35年連続全国第1位なんです。

このコロナ禍において、のこぎりの輸出動向にも変化があったようですが、今回は、兵庫県の地場産業のひとつであるのこぎりの輸出について、最新情報も織り交ぜながらご紹介したいと思います。



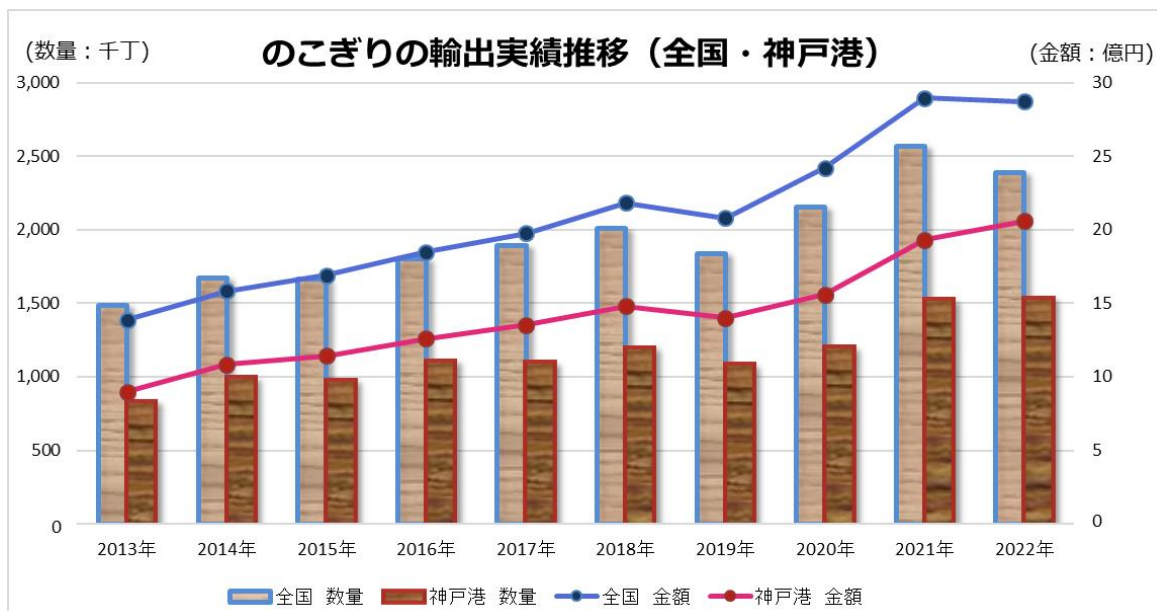
注) 本稿の「のこぎり」は、輸出統計品目番号8202.10-000の「手のこぎり」を指します。

また、「過去最高」は、比較可能な1988年以降のデータを基礎として比較したものです。

2. 輸出動向

①輸出実績推移

全国及び神戸港の 2013 年以降の輸出実績の推移は以下のグラフのとおりです。



全国及び神戸港の過去 10 年の輸出動向を見ると、年によって増減はあるものの、おおむね増加基調で推移しています。

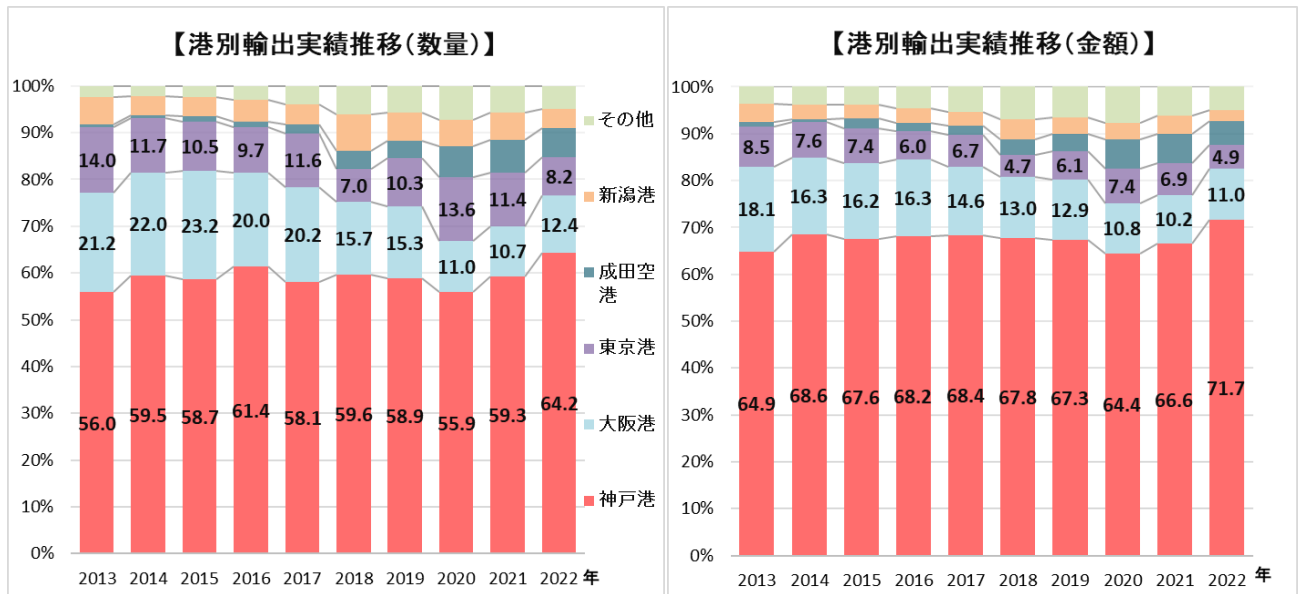
2022 年の全国では、数量が約 238 万 9 千丁、金額が約 28 億 7 千万円となっており、2013 年と比較すると数量で約 1.6 倍、金額で約 2.1 倍となり、数量・金額ともに過去最高の 2021 年に次いで過去 2 番目の水準となっています。

2022 年の神戸港では、数量が約 153 万 5 千丁、金額が約 20 億 6 千万円となっており、2013 年と比較すると数量で約 1.8 倍、金額で約 2.3 倍となり、前述のように数量・金額ともに過去最高となりました。

増加の要因として、業界では、コロナ禍以前は毎年のように海外の展示会に出展して日本製のこぎりを PR してきたことや、業界団体・各メーカーホームページを充実させたこと、そして各種 SNS を通じて高品質な日本製のこぎりの認知度が上がったことなどが要因となって、増加したのではないかとみています。また、それに加えて、コロナ禍のいわゆる「巣籠もり需要」によって DIY や園芸向けの売り上げが世界的に増加し、新規ののこぎりユーザーが開拓されたことも増加要因の一つとみています。

②港別輸出実績

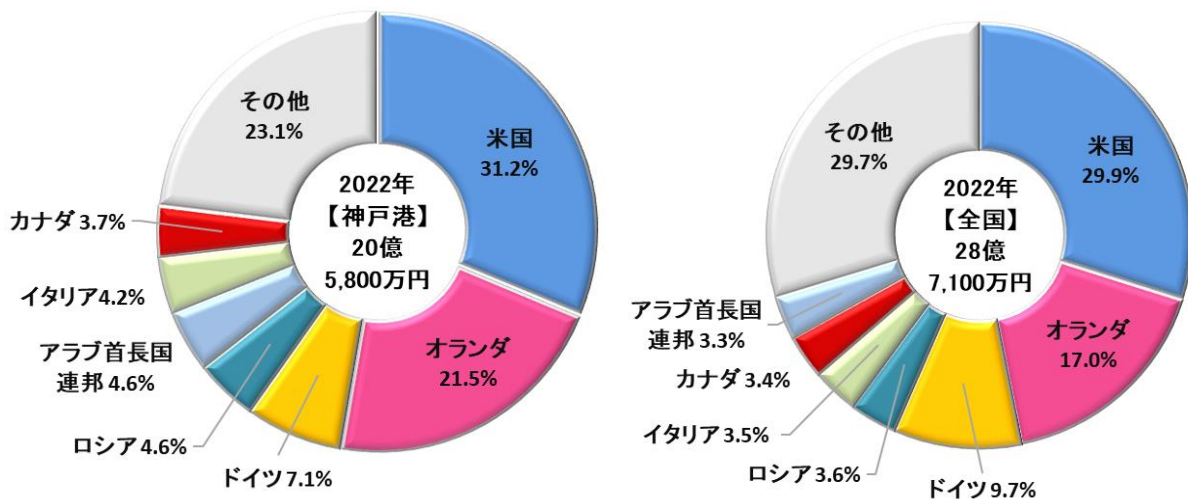
過去 10 年の港別シェアをみると数量・金額ともに神戸港が常に全国の 6 割前後のシェアを占めていて、前述のように、1988 年以降 35 年連続、数量・金額ともに日本一です。



神戸港が利用される理由として、古くからの金物の生産地が神戸港近郊にあり、生産地からの運送距離が短く、海外への輸送コストの一番良い国際港である神戸港が利用されているからとみられます。

③国・地域別輸出実績

2022年には、神戸港からは42カ国へ、全国からは58カ国へ向けて輸出されています。上位の国・地域別シェア（金額ベース）を見ると、全国・神戸港ともに、米国、オランダ、ドイツの順となっています。上位の輸出相手国はその周辺地域の流通拠点になっていることが多く、そこからさらに近隣諸国へ流通する商品も含まれています。



輸出されるのこぎりは、海外ユーザーの体格や力に合わせて、国内向けのものより大型のものや、刃が折れにくいように刃を厚くするなど強度が上げられているものもあり、「日本製のこぎりは切れ味が良く、切断面がきれいで、耐久性に優れている」と、高く評価されています。

現地では、主にプロユーザー向けの専門店で販売され、DIY や園芸などで家庭において使用されることもあるものの、例えば、森林や街路樹の整備などの造園関係や果樹園の剪定に従事する職人、欧州においては伝統的な家具や楽器を扱う職人など、プロの職人に使われることが多いそうです。

また、欧米には造園関係の職業のひとつにアーボリストという職業があります。アーボリストは樹木の管理全般について専門的に学んだスペシャリストで、ヘルメットやロープやハーネスといったロッククライミングのような装備で高い木に登り、高所で技術を要する剪定や伐採を行います。不安定な場所で危険を伴う作業ゆえに、道具の品質を重視する人が多いので、高品質な日本製のこぎりが好まれるそうです。欧米では広く知られた職業ですが、最近では、日本においてもアーボリストの認知度が上がってきているようです。

3. おわりに

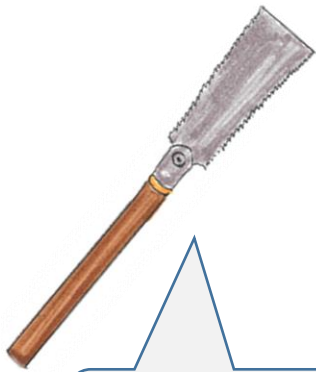
前述のように、「MADE IN JAPAN=最高の品質」ということで、海外で高く評価されている日本製のこぎり。のこぎりの市場といえば、ひと昔前は造園や木工などのプロ職人向けが主流のようでしたが、今後は欧米で盛んなハンティングやキャンプなどのアウトドア向けにおいて、さらには各種災害へ対処する防災向けなどにおいても、新規のこぎりユーザーの需要が期待されます。

また、コロナ禍で中断していた海外の展示会ですが、昨年 2022 年秋以降は海外出展も再開しました。業界によると、今後も年によって増減はあるものの、業界全体の様々な PR 活動や各種 SNS を通じて高品質な日本製のこぎりがさらに広く認知され、新規分野のユーザーも獲得していくことで、のこぎりの輸出は中長期的には増加していくとみています。

日本製のこぎりが海外に渡って、そののこぎりによって豊かな森林が守られたり、おいしい果実が実ったり、作られた楽器で素敵なハーモニーが奏でられたり、代々受け継がれる家具となったり…今後も、活躍のフィールドの広がりが楽しみですね。



～ のこぎり いろいろ ～



日本の伝統的な両刃のこは
海外でも使われています！

カーブした刃が特徴。
力強く押さえなくても切りやすい
ので、アーボリストにも人気！



折りたたみ式のもものは
アウトドアでも便利！



いろんな形や大きさののこぎりがあるね！
用途に合ったものを選ぶと切りやすいんだって～。

注

1. 本資料における統計数値は、2021年以前は確定値、2022年は確々報値です。
2. 本資料を転載するときは「神戸税関」の資料に基づく旨を注記してください。
3. 神戸税関ホームページのアドレス <https://www.customs.go.jp/kobe/>
4. 本資料に関するお問い合わせ先 神戸税関調査部調査統計課 TEL 078-333-3065

のぎりの輸出数値表（輸出統計品目番号：8202.10-000）

（数量単位：千丁 金額単位：百万円）

●輸出実績推移

年	神戸港						全国			
	数量		金額		数量		金額		前年比	
		前年比	全国比		前年比	全国比		前年比		前年比
2013年	831	102.3%	56.0%	899	106.1%	64.9%	1,485	106.2%	1,386	107.6%
2014年	995	119.7%	59.5%	1,085	120.7%	68.6%	1,671	112.6%	1,582	114.2%
2015年	978	98.3%	58.7%	1,142	105.3%	67.6%	1,668	99.8%	1,691	106.9%
2016年	1,108	113.3%	61.4%	1,261	110.4%	68.2%	1,803	108.1%	1,849	109.4%
2017年	1,097	99.0%	58.1%	1,351	107.1%	68.4%	1,888	104.7%	1,975	106.8%
2018年	1,197	109.1%	59.6%	1,479	109.4%	67.8%	2,008	106.3%	2,182	110.5%
2019年	1,082	90.4%	58.9%	1,400	94.7%	67.3%	1,838	91.6%	2,081	95.4%
2020年	1,201	111.0%	55.9%	1,559	111.3%	64.4%	2,151	117.0%	2,420	116.3%
2021年	1,524	126.9%	59.3%	1,931	123.8%	66.6%	2,569	119.5%	2,897	119.7%
2022年	1,535	100.7%	64.2%	2,058	106.6%	71.7%	2,389	93.0%	2,871	99.1%

●港別輸出実績（数量）

年	全国	神戸港		大阪港		東京港		成田空港		新潟港		その他	
		数量	全国比	数量	全国比	数量	全国比	数量	全国比	数量	全国比	数量	全国比
2013年	1,485	831	56.0%	315	21.2%	207	14.0%	9	0.6%	89	6.0%	34	2.3%
2014年	1,671	995	59.5%	368	22.0%	196	11.7%	7	0.4%	71	4.2%	36	2.1%
2015年	1,668	978	58.7%	386	23.2%	175	10.5%	20	1.2%	69	4.2%	39	2.3%
2016年	1,803	1,108	61.4%	360	20.0%	175	9.7%	21	1.2%	84	4.7%	54	3.0%
2017年	1,888	1,097	58.1%	382	20.2%	219	11.6%	35	1.9%	81	4.3%	74	3.9%
2018年	2,008	1,197	59.6%	315	15.7%	140	7.0%	79	3.9%	156	7.7%	122	6.1%
2019年	1,838	1,082	58.9%	282	15.3%	190	10.3%	69	3.8%	109	5.9%	106	5.8%
2020年	2,151	1,201	55.9%	237	11.0%	292	13.6%	140	6.5%	125	5.8%	154	7.2%
2021年	2,569	1,524	59.3%	276	10.7%	292	11.4%	181	7.0%	149	5.8%	149	5.8%
2022年	2,389	1,535	64.2%	296	12.4%	195	8.2%	150	6.3%	94	4.0%	119	5.0%

●港別輸出実績（金額）

年	全国	神戸港		大阪港		東京港		成田空港		新潟港		その他	
		金額	全国比	金額	全国比	金額	全国比	金額	全国比	金額	全国比	金額	全国比
2013年	1,386	899	64.9%	251	18.1%	118	8.5%	13	0.9%	56	4.0%	49	3.5%
2014年	1,582	1,085	68.6%	257	16.3%	120	7.6%	11	0.7%	48	3.0%	60	3.8%
2015年	1,691	1,142	67.6%	275	16.2%	125	7.4%	37	2.2%	48	2.8%	65	3.8%
2016年	1,849	1,261	68.2%	301	16.3%	111	6.0%	35	1.9%	58	3.1%	84	4.5%
2017年	1,975	1,351	68.4%	289	14.6%	133	6.7%	41	2.1%	57	2.9%	105	5.3%
2018年	2,182	1,479	67.8%	283	13.0%	103	4.7%	75	3.4%	90	4.1%	153	7.0%
2019年	2,081	1,400	67.3%	269	12.9%	127	6.1%	74	3.6%	73	3.5%	137	6.6%
2020年	2,420	1,559	64.4%	260	10.8%	179	7.4%	150	6.2%	87	3.6%	185	7.6%
2021年	2,897	1,931	66.6%	296	10.2%	199	6.9%	182	6.3%	111	3.8%	177	6.1%
2022年	2,871	2,058	71.7%	315	11.0%	140	4.9%	145	5.1%	71	2.5%	141	4.9%

●国・地域別輸出実績

国名	神戸港				全国			
	数量		金額		数量		金額	
	2022年	構成比	2022年	構成比	2022年	構成比	2022年	構成比
全世界	1,535	100.0%	2,058	100.0%	2,389	100.0%	2,871	100.0%
米国	410	26.7%	643	31.2%	657	27.5%	858	29.9%
オランダ	206	13.4%	442	21.5%	255	10.7%	488	17.0%
ドイツ	113	7.3%	146	7.1%	217	9.1%	278	9.7%
ロシア	90	5.9%	95	4.6%	98	4.1%	104	3.6%
アラブ首長国連邦	131	8.6%	94	4.6%	125	5.2%	101	3.5%
イタリア	114	7.4%	86	4.2%	58	2.4%	97	3.4%
カナダ	45	2.9%	77	3.7%	132	5.5%	94	3.3%
その他	425	27.7%	475	23.1%	848	35.5%	852	29.7%